

財団活動紹介

本年度も当財団では、琵琶湖の環境保全や温暖化対策を中心に様々な事業を予定しています。様々な県民の方に参加していただける事業など、10月までに行われた主な事業をご紹介します。

7~10月 省エネ・お得ポイント事業

省エネ（節電）に取り組むグループを募集し、そのメンバーの各家庭の節電実績に応じてグループに活動支援金を支給し応援する事業です。今年は1709世帯、69グループの方が省エネに挑戦しました。



6~10月

ヨシ地域協働型学習会事業

県下6つの小学校でヨシ学習会を行っています。今年は主に4年生の児童がヨシについて学び、校内でヨシを栽培し、秋には琵琶湖などに植えました。



6~7月

ヨシ苗育成事業

琵琶湖のヨシを採取し、挿し木苗というやり方で増殖して、約14000個の苗をつくりました。苗はヤシ繊維のマットに植え込み、来年琵琶湖に植え込まれる予定です。

4~10月 湖底改善・生産力向上事業

南湖でのシジミ漁場の復活を図るため、琵琶湖の漁師さんの協力で湖底耕耘および水草除去を行う事業です。ことしは、昨年より範囲を広げ120ヘクタールの面積で行われました。



7~8月

ヨシ腐葉土制作事業

琵琶湖の冬のヨシ群落刈取清掃業務で採れたヨシを有効利用するため、ヨシ腐葉土を制作しました。約5000袋のヨシ腐葉土をつくり、菊作りの園芸家などに出荷されています。



7月

いきづく湖沼ふれあいモデル事業

7月29日を中心に、琵琶湖の周辺に大人や子どもなど161名の人が出動し、「第2回琵琶湖一周調査隊」として、水質調査を実施しました。調査地点は173箇所に及び、湖南地区の会場では、学習会も行われました。

お知らせ

次の皆さんから財団法人淡海環境保全財団が実施している滋賀の環境保全に役立ててほしいと寄付金を贈呈していただきました。 ・株式会社瀬田アーバンホテル ・休暇村近江八幡 ・株式会社キントー